

徹底解説！ダイオキシンの生体代謝をめぐる新たな知見と環境制御・計測技術の現在 — 人と化学物質は共存（棲み分け）できるのか？—

■ 日時・場所

2019年 1月28日(月) 13:20-17:15 (開場 13:00)

大阪工業大学 梅田キャンパス

OIT梅田タワー 3F 常翔ホール

(大阪市北区茶屋町1番45号 06-6147-6269)

定員: 500名

■ 趣旨

古くから規制基準が定められている硫黄酸化物などの物質は、刺激性など、わかりやすい有害性を有していましたが、近年規制されはじめた有機化学物質については、代謝やタンパク質の誘導など、複数の段階を経て毒性を発現するなど、そのメカニズムは複雑です。

これらは生命科学の進歩で飛躍的に解明され、アレルギーとの関連が指摘される一方、発がんががん抑制の両面に関わること、ヒトの生体がヒト以外の生物の機能に支えられていることなど、単に排除するだけでなく、うまく棲み分ける選択肢も浮かび上がります。

環境分野の技術と計測に携わる人こそ知っておきたい、今後の研究開発の新たな視点につながるセミナーですので、是非ともお越しください。



■ 参加費

廃棄物資源循環学会 学会員	2000円
日本環境化学会 学会員	学会年会費に含まれます
一般	4000円
学生	無料

■ プログラム

開会にあたって

大阪工業大学	渡辺信久 (趣旨説明)	13:20-13:40
--------	-------------	-------------

【バイオサイエンス分野】

生体維持機能の化学物質による攪乱 —Ahレセプターの本来の機能への介入— (仮題)

埼玉県立がんセンター	川尻 要 (話題提供)	13:40-14:10
富山県立大学	榎 利之 (討議・質問)	14:10-14:20
質問に対するコメント		14:20-14:30

【廃棄物資源循環分野】

化学物質の分解と分離から考えるダイオキシン・POPs対策 - 環境のための最良の慣行を探る— (仮題)

岡山大学	川本克也 (話題提供)	14:40-15:10
京都大学	藤森 崇 (討議・質問)	15:10-15:20
質問に対するコメント		15:20-15:30

【環境化学分野】

生体内と環境中での化学物質挙動の類似点と相違点 —POPs中間代謝物への挑戦— (仮題)

島津テクノリサーチ	高菅卓三 (話題提供)	15:30-16:00
摂南大学	中尾晃幸 (討議・質問)	16:00-16:10
質問に対するコメント		16:10-16:20

総合討論 16:30-17:10

閉会 17:10-17:15

申し込み方法

E-mailで、タイトルに「セミナー参加希望」とご記入の上、
所属
氏名
住所
連絡先(E-mailアドレスおよび電話番号)
「会員/非会員の別」

を明記の上、1月15日までに下記までお申し込みください。参加番号をお送り致します。

「会員/非会員の別」記入例

廃棄物資源循環学会	会員番号 _____	参加費	2000円
日本環境化学会	会員番号 _____	参加費	学会年会費に含まれる
いずれの学会にも所属していない		参加費	4000円
学生の場合		参加費	0円

申込先 〒535-8585 大阪市 旭区 大宮 5-16-1 大阪工業大学 環境工学科 気付
「廃棄物資源循環学会関西支部・日本環境化学会関西地区部会 連携セミナー 係」(担当: 渡辺信久)
TEL 06-6954-4407 FAX 06-6952-6197 seminar.env@oit.ac.jp

学会員の会員番号および入会に関することは廃棄物資源循環学会(TEL 03-3769-5099)および日本環境化学会(TEL 029-886-3185)までお問い合わせください。

